

17 セーフティ・へきなんボランティアクラブ（碧南市）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	セーフティ・へきなんボランティアクラブ
2 事業名	碧南市・高浜市における特殊詐欺被害および乗り物盗対策事業
3 事業実施結果	<p>1. 当団体について</p> <p>① 当団体は、愛知県警察を定年退職して、碧南市・高浜市に居住して碧南警友会に入っている会員から、防犯ボランティア活動に感心がある有志の会員で組織されている。<u>活動拠点は碧南警察署生活安全課で、集合場所は碧南警察署または同署高浜幹部交番である。活動終了後は、流れ解散である。</u></p> <p>② 令和4年10月14日（金曜日）に、<u>碧南警察署長から会員13名は「碧南警察署防犯ボランティア」の委嘱状を受けた。</u></p> <p>③ <u>当団体の活動状況</u> 当会員は、青色ベストと帽子を着用して、青色回転灯装備車（青パト。会員の自家用車5台とも<u>陸運局から自主防犯活動用自動車の指定を</u>）に分散乗車して ・偶数月（年金支給月）は、市内の金融機関を巡回して碧南警察署提供の啓発品を配布し、行員および来店客に特殊詐欺防止の呼び掛け活動 ・奇数月は、乗り物盗・侵入盗の警戒防止のために、パトロール活動 ・碧南署生活安全課から参加要請がある防犯活動に参加を意欲的に続けている。</p> <p>④ <u>青パトを運転する会員は、愛知県警察本部長から発行されたパトロール実施者証を携行している。パトロール実施地域は、碧南警察署管内全域となっている。</u></p> <p>⑤ <u>青色回転灯およびマグネットシートの購入目的</u> ○平成17年7月に、団体として発足した際に碧南市役所から借用した青色回転灯5個は、車の提供者（交代した時は引継ぎ）の責任で維持管理に努めて来たが、17年間も経過して買い替え時期となっていた。同じく車の両側面に取り付けている防犯用マグネットシートも古く買い替え時期となっていた。 ○そこで、愛知県の地域自主防犯活動活発化促進事業に応募して、審査に合格したので、下記2点を購入した。 ・新型青色回転灯の底部は、車体の屋根が傷つかないようになっていて、車の提供者からは歓迎されている。 ・また、マグネットシートは色・文字とも色鮮やかで、視認性が高く、今まで以上に防犯効果があると期待している。</p>

2. 愛知県の委託金で購入した物品

- ① 車載型ハイパワーLED 青色回転灯 5個（5台分）
- ② 防犯用蛍光反射マグネットシート 10枚（5台分）
- ③ 物品は、令和4年8月下旬に碧南署生活安全課防犯協会を通じて注文して、9月5日に受領して青パト提供者に配付した。9月30日に代金60,500円を支払った。統括リーダーが代金を立て替えて領収書を受領した。



車載型ハイパワーLED回転灯 BFM-LED青

マグネットシート

3. LED青色回転灯とマグネットシートを取付けた状況



モデル・統括リーダーの自家用車（自主防犯活動用自動車）

4. 10月14日 碧南警察署長から委嘱状を受けた。



碧南警察署長との記念撮影



碧南市役所地域協働課から提供されたベストと帽子です。

5. 当団体の取組内容 特殊詐欺対策事業

乗り物盗対策事業

 (1) 青色回転灯装備車（自主防犯活動用自動車）による活動

- 集合場所が碧南警察署の時は、警察署長および生活安全課長から挨拶と管内情勢の説明があり、見送りを受けて活動へ。
- 集合場所が高浜幹部交番の時は、交番所長（課長補佐）の挨拶があり、見送りを受けて活動へ。
- 統括リーダーが、当日の参加者数を考慮して、青パトの台数と乗車区分および巡回先の金融機関、パトロールの区域を決めて指示している。
- 青パトは揃って活動せず、指定した場所のみを担当しています。

 (2) 新型コロナウイルス感染対策

- マスクは常時着用しています。
- 碧南署では、署員が顔認証検温システムで来庁者の検温を行っています。会員も検温をして、手指の消毒を行っています。
- 金融機関では、入る時、出る時には手指の消毒をしています。

6. 活動内容

 (1) 8月18日（月曜日）年金支給日。碧南市内の金融機関を訪問活動

- 1時30分、碧南署4階講堂に集合
- 青色回転灯車両4台に会員8名が分乗して、青色回転灯を点灯しながら、碧南市内の11金融機関を訪問して、碧南署から提供された特殊詐欺防止啓発品100部を窓口で行員さんに手渡し、お客さんが被害にあわれないように配付を、ATMコーナーで携帯電話を使用中の高齢者を見かけたら声かけをして下さいとお願いした。



碧南署で集合写真



配付した啓発品



十六銀行碧南支店



岡崎信用金庫碧南中央支店



西尾信用金庫碧南支店



愛知県中央信用組合本店

(2) 9月15日(木曜日) 奇数月。碧南市内をパトロール活動

- ・ 1時30分、碧南署4階講堂に集合
- ・ 青色回転灯車両4台に10名が分乗して、碧南市内を4地区に分担して青色回転灯を点灯しながら、パトロール活動を行った。



碧南署で集合写真

- ・活動時間帯は、碧南署では運転免許更新時間帯と重なり、青パトは2台しか駐車できない。
- ・他の青パトや自家用車は、碧南市役所駐車場をお借りして駐車している。

(3) 10月14日(金曜日) 年金支給日。碧南市内の金融機関を訪問活動

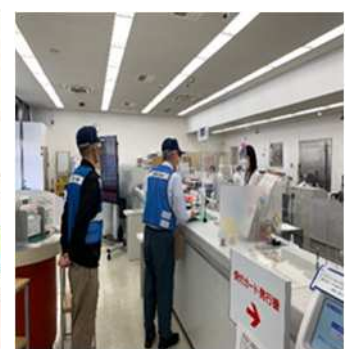
- ・ 1時30分、碧南署4階講堂に集合
- ・ 碧南警察署長から会員13名に対して、碧南警察署防犯ボランティアの委嘱状が交付された。
- ・ 青色回転灯車両4台に会員12名が同乗して、青色回転灯を点灯しながら、碧南市内の11金融機関を訪問して、碧南署生活安全課から提供された啓発品100部を窓口で行員さんに手渡し、お客さんが被害にあわれないように配付を、ATMコーナーで携帯電話を使用中の高齢者を見かけたら、声かけをして下さいとお願いした。



碧南警察署で集合写真



配付した啓発品



(4) 11月15日(火曜日)奇数月。高浜市内を防犯パトロール活動

- 1時30分に高浜幹部交番に集合
- 青色回転灯車両5台に会員10名が同乗し、高浜市内を5地区に分担して青色回転灯を点灯しながら、パトロール活動を行った。



高浜幹部交番で集合写真

碧南署高浜幹部交番所長(課長補佐)から挨拶を、生活安全係長から管内犯罪情勢の説明があった。

(5) 12月15日(木曜日) 年金支給日。

碧南署生活安全課と会員2名が啓発活動

- 10時から愛知県中央信用組合本店
- 碧南署生活安全課係長、女性署員と会員2人(統括リーダーと碧南警友会長)が、年金支給日に伴う啓発活動を行った。
- 店内ATM前において、来店されたお客さんに生活安全課および交通課提供の啓発品50部を配付して、特殊詐欺被害・交通事故防止の呼びかけを行った。
- ローカルケーブルテレビ「KATCH」(キャッチ)の取材があった。同日午後6時からの定時番組「キャッチタイム」で放送された。
- 統括リーダー宅では視聴したが、当団体名の紹介があり、会員2人が啓発品を配付し、注意を呼びかけている模様も放送された。



配付した啓発品



愛知県中央信用組合本店での青パト



ケーブルテレビ「KATCH」の番組「キャッチタイム」で放送されたテレビ画像。スマホで画像を動画撮影したが、それを静止画像に編集して、交通死亡事故件数・特殊詐欺被害認知件数のテロップ文字が表示された写真を取り出して印刷した。

(6) 12月15日(木曜日)・年金支給日

碧南市内の金融機関を巡回して啓発活動

- ・ 1時30分碧南署4階講堂に集合
- ・ 青色回転灯車両3台に会員8名が同乗して、青色回転灯を点灯しながら、碧南市内の11金融機関に立ち寄り訪問して、碧南署生活安全課から提供された啓発品100部を窓口で行員さんに手渡し、お客さんが被害にあわれないように配付を、ATMコーナーで携帯電話を使用中の高齢者を見かけたら、声かけをして下さいとお願いした。



碧南署で集合写真



碧海信用金庫北新川支店



JA あいち中央碧南中支店



岡崎信用金庫新川支店



名古屋銀行碧南支店



愛知銀行碧南支店



碧南郵便局



三菱 UFJ 銀行碧南支店



配付した啓発品

- ① 啓発品は、毎回総計100部であるが、生活安全課の方で3台分に仕分けし、紙袋に入れてある。
- ② それを、訪問活動の時は、3店～4店に仕分けして配付している。

4 成果と課題及び今後の取組み

(1) 事業実施の成果及び課題

成果

- 当団体は、元警察官としての体験を生かして、
 - ・偶数月（年金支給日）は特殊詐欺被害防止を目的に碧南署管内の金融機関を青色回転灯装備車の青色回転灯を点灯して巡回訪問して、碧南署提供の啓発品を金融機関に、時には来店中のお客さんに配布しながら、注意喚起を呼び掛けています。
 - ・奇数月は、碧南市・高浜市内を青色回転灯装備車の青色回転灯を点灯しながら乗り盗・侵入盗の防犯パトロール活動を続けています。
- 元警察官としての体験をもとに、防犯効果を出すように、地域に安心感を持って貰えるように、また青パトの交通事故防止にも注意を払って活動を行っています。

○碧南警察署のホームページで委嘱状交付式の模様を紹介

活動レポート

2022年10月14日

元警察官で結成された防犯ボランティア団体セーフティ・へきなんボランティアクラブには、日頃から地域の防犯パトロール、特殊詐欺被害防止の啓発等の活動をしていただいています。

同クラブに当署防犯ボランティアを委嘱しました。



当団体の課題

○会員の確保補充

- ・当団体は、愛知県警察を退職し、碧南警友会に入会した会員から防犯ボランティア活動に感心がある人で組織されていますが、現在の13名中、80歳代が3名もいて、会員の確保補充が最大の課題であります。会員になってほしいと必死になって働きかけをしていますが、承諾を得るのは容易な事ではありません。

○会員に対する連絡方法

- ・統括リーダー（岩井）が、活動日2週間前から会員に連絡をして出欠の有無を問い合わせています。
- ・統括リーダーになった平成27年度からハガキで連絡してきましたが、ハガキ代が1万円もかかったので取りやめになり、令和元年度から統括リーダーの携帯電話で連絡する事になりました。
- ・令和4年3月には、私の提案で、スマホ所有者会員でライン「碧南警友会8」を立ち上げました。この結果、4月から、私が7名に対してはラインで一斉に連絡できるようになり、残りはメール2人、電話3人となり、手間暇と金銭的負担が軽減しました。

(2) 今後の取組み

○当団体の運営および継続

- ・平成17年7月に発足しました当団体を、気長に、気楽に、地道に、安全に、参加できる時に参加する、防犯ボランティアの気持ちを持って、今後も継続していきたいと思えます。
- ・金融機関を巡回して啓発活動を行えるのは、警察OBである事、碧南署から提供された啓発品を配付する事を告げる事により、金融機関および来店中のお客さんに安心感・信頼感を与えるためと自覚しています。この気持ちを大切に持ち、継続したいと思います
- ・そのためには、会員同士の融和を保ち、各々健康に留意し、碧南警察署生活安全課・碧南高浜防犯協会連合会との連絡協調・協力 関係を保持していきたいと思えます。

○青色回転灯装備車（青パト）の安定確保

- ・当団体の活動主体となる青色回転灯車両5台は、会員提供の自家用車で、善意のもとに支えられています。その気持ちを配慮して、活動日の青色回転灯車両の安定確保に努めております。

○碧南署生活安全課（防犯協会）への参加者を連絡

- ・毎月参加者名簿を作成すると、防犯協会職員に電話連絡をしていましたが、令和4年4月からパソコンメールで、参加者名簿を送信しています。防犯協会職員が名簿を、生活安全課課長と係長に渡されます。
- ・コロナ感染防止で、碧南署でも検温、来庁者は住所氏名と訪問先の部署を記入していますが、名簿を送信することで、検温と消毒手指の消毒を除いて省略され、来庁者カードを借用できます。

(3) 当団体の活動に対する感謝状を受賞

- ・令和4年5月30日、碧南商工会議所で開催された碧南高浜防犯協会連合総会で、地域安全功労団体として団体賞を受賞しました。
- ・令和5年1月17日に、碧南署4階講堂で開催される碧南警察署 感謝状贈呈式において、当団体は団体賞を、統括リーダーは個人賞を、それぞれ頂けるとの案内状が届きました。統括リーダーとしての受賞は初めてです。責任感を新たにして懸命に任務を続けて行きたいと思えます。

(4) 当団体のボランティア活動実施結果報告書

統括リーダーが作成して会長に提出し、碧南警友会定期総会の添付資料として、全会員に配付されて承認を受けています。